

元登戸研究所勤務者が語る 「陸軍の秘密戦研究所」

日時… 3月9日 (土)

場所… 中央校舎6階

メディアホール

定員に達ししだい、入場を締め切ることがあります。
(定員 280名)

開場… 12時半
開演… 13時
終了時間… 16時

36

案内役：山田 朗 + 聞き手：渡辺 賢二
(文学部教授) (文学部兼任講師)

小川昭治氏

1927 (昭和2) 年生まれ。
1942年4月1日～1945年8月20日まで登戸研究所第二科第一班にて勤務。
伴繁雄技術少佐の下で働き、1944年11月一宮での風船爆弾放球作業にも参加する。

大久保豊一氏

1926 (大正15) 年生まれ。
1941年4月1日～1944年の出兵まで登戸研究所第三科にて勤務。
南方班に所属し、印刷が終わった偽造紙幣の裁断を行っていた。

栗山清氏

1928 (昭和3) 年生まれ。
1942年4月1日～1945年8月20日まで登戸研究所第二科第四班にて勤務。
現資料館第四展示室になっている研究室にて、対動物用細菌兵器の研究開発を行っていた。

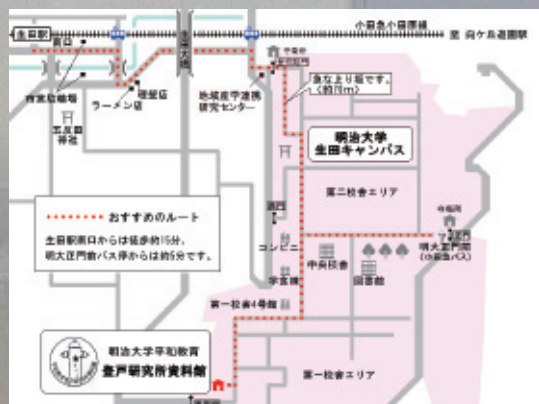
土本こま氏

1927 (昭和2) 生まれ。
1942年4月1日～1945年終戦まで登戸研究所第三科にて勤務。
南方班に所属し、偽造法幣の「すかし」検査を行った後、北方班に移り、紙幣の原料となる端切れを選別していた。

土本義夫氏

1921 (大正10) 年生まれ。
1944年3月に特殊研究要員として陸軍中野学校入校。
同年9月に同校卒業後、参謀本部第二部に所属し、終戦まで第三科で製造した偽造法幣を上海の阪田機関まで運搬する業務についた。

〈登壇者紹介〉



〈お問い合わせ先〉

〒214 - 8571

神奈川県川崎市多摩区東三田 1 - 1 - 1

明治大学生田キャンパス

TEL/FAX 044-934-7993

E-mail noborito@mics.meiji.ac.jp